

長

三二號

ノ五三

十月十九日

昭和四年十月一日

長鯨艦長和田專

第二船隊司令長官大角岑生殿

軍艦長鯨觸衝事件報告

本艦昭和四年九月二十九日午後三時ヨリ第

二艦隊第一面應用教練ニ参加行動中同時

二十五分伊號第五十四潜水艇ト觸衝船尾

ニ別紙ノ損傷ヲ蒙レリ衝突顛末ニ就テ

別紙ノ當道將校及航海長顛末書ノ通り

(終)

海

軍

410.2 受接

海軍

軍艦長蘇衝突顛末書

當直將校海軍大尉 植村庭三

一 衝突ノ時機場所對手艦名艦長氏名

(一) 時機 昭和四年九月二十九日午後八時二十五分

(二) 場所 潮岬燈台ノ一八二度九哩

(三) 對手艦名 伊號第五十四潜水艦

(四) 對手艦長名 海軍少佐 大和田昇

二 衝突前後ニ於ケル風向風力天候海上ノ模様潮流ノ

方向速力其他四圍ノ狀況

(一) 風向北東 風力一九米秒

(二) 天候 曇 雲量一。斷續的降雨 視界良好

(三) 海上ノ模様 荒

(四) 潮流ノ方向 東 速力一五節

海軍

(木) 濤 東南東

(一) 四圍ノ状況

第二艦隊本部、第二艦隊第一回應用教練

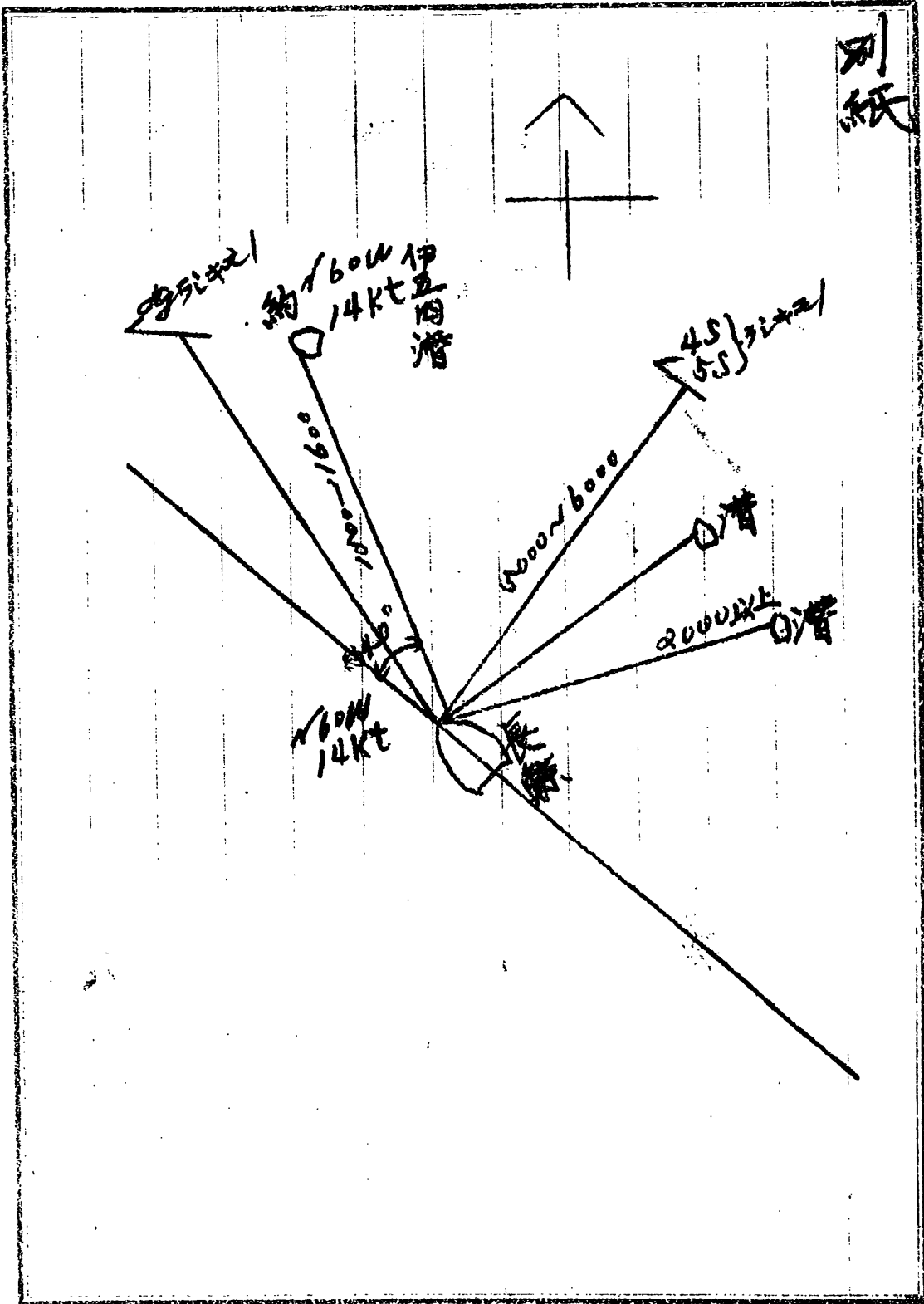
ニ参加シ午後七時三分演習中止、各隊個々

ニ翌朝午前二時演習再興、發動英ニ

向ヒ潮岬南方海面ヨリ西航、午後八時二

十分頃ニ於ケル本艦ヨリ見タ各隊ノ關係

次葉ノ通り



海軍

海軍

三本艦ノ發程地目的地針路速力燈光機關操舵其  
 他衝突前ニ於ケル本艦ノ狀況  
 (一)發程地 三河灣  
 (二)目的地 和歌浦  
 (三)針路 北六〇西  
 (四)速力 強煙一四節回轉一〇〇  
 (五)燈光 航海燈速力燈ヲ突出シツ、アリ  
 (六)機關操舵ノ狀況 良好  
 (七)其他 無シ  
 (八)初メテ對手艦ヲ發見シタル時刻方位距離及燈光狀況  
 (九)時刻 演習中止午後七時三分前ヨリ之ヲ認ム  
 (一〇)方位 最初船正横後漸次本艦ノ船正横前ニ進出  
 (一一)距離 二、三千米

海軍

(三) 燈火ノ狀況 速力燈 航燈

五 對手艦ノ推測針路速力燈光信號運用ノ狀態其  
他衝突前ニ於テ對手艦ノ狀況

(一) 針路本艦ト概テ逆行

(四) 速力強速 一四節

(ハ) 燈光本艦航正横附近ニテハ速力燈航燈ヲ認

ズルモ對手艦力漸次進出スルニ從ヒ航燈ヲ見失ヒ

航燈速力燈ヲ莫出スルヲ認ム

午後八時二十分頃航燈ヲ認メ之ヲ暫時ニテ見失フ後再

ヒ航燈ヲ認メ續テ其ノ光力ノ増大スルヲ知ル同二十四

分頃航燈ヲ認メ更ニ速力燈ノ赤燈ヲ莫出セシヲ認ム

(二) 午後八時十七八分頃吾レ伊五四潛ノ信號アリタル外入列

意志表示、航燈回頭ノ通知等ニ關スル信号ハ何等

之ヲ認メス

(水)運用ノ状態

イニテ述ヘシ如ク午後八時二十分頃航燈ヲ認メシモ  
麦針セルモノ如ク之ヲ見失フ

同二十三分頃再ヒ取舵ヲ取り本艦ノ前方ヲ通過

スル如ク見エシカ更ニ面頭ヲ續ケ本艦航正横近距

離ニ約九。度ノ交角ヲ以テ航進中ノ船体ヲ認ム

續テ速力燈ノ標示ニ依リ後進ヲ令セシヲ認ム

(ハ)其他衝突前ニ於ケル対手艦ノ状況

無シ

六衝突ヲ避ケル爲本艦ノ施シタル處置

午後八時二十分頃本艦ノ航船約四十度約一五〇米ニ

概テ航行中ノ伊五四潜水艦ノ航燈ヲ認メ測距ヲ令セル

## 海軍

七、我艦針七ノ、如ク之ヲ見失フ暫時ニテ再ビ航燈ヲ  
 認ム此ノ時測距離一五〇。米航艦約三〇度續テ赤燈  
 ノ光度増大スルヲ認メ此ノ時一四〇。米ノ測距離ヲ得(直  
 ニ取航一杯(信號ヲナサス)續テ停止後進原速ヲ令  
 ス但ニ未ダ後進ノ力、ラ又内航正横附近々距離ニ  
 本艦ト直交スル伊五四潜ノ船体ヲ認メ午後八時  
 二十四分頃艦長ノ令ニ依リ前進原速面航一杯ヲ  
 令セシテ一瞬間後同艦ト觸衝セリ  
 七、彼我艦船ハ初メテ相觸レタル部分交角及其後状況  
 (ハ)觸衝矣

本艦右舷航艦ヨリ前方約三十八呎推進器ヨリ後方約  
 六呎水準線附近潜水艦兵科倉庫舷側外致  
 対手艦左舷艦



海軍

(四) 交角 同航約七十度

(イ) 其後ノ状況 直ニ離脱ス

八 衝突後彼我ノ施シタル處置

(一) 本艦直ニ総員ヲ防水配置ニツカシメ損所ノ應急處置ヲス

(四) 對手艦 不明

九 彼我損害状況

(一) 本艦ノ状況 別圖ノ通り

(四) 對手艦 船ヲ約二呎舫ニ屈曲ス

一〇 彼我艦船ニ水先人ノ有無

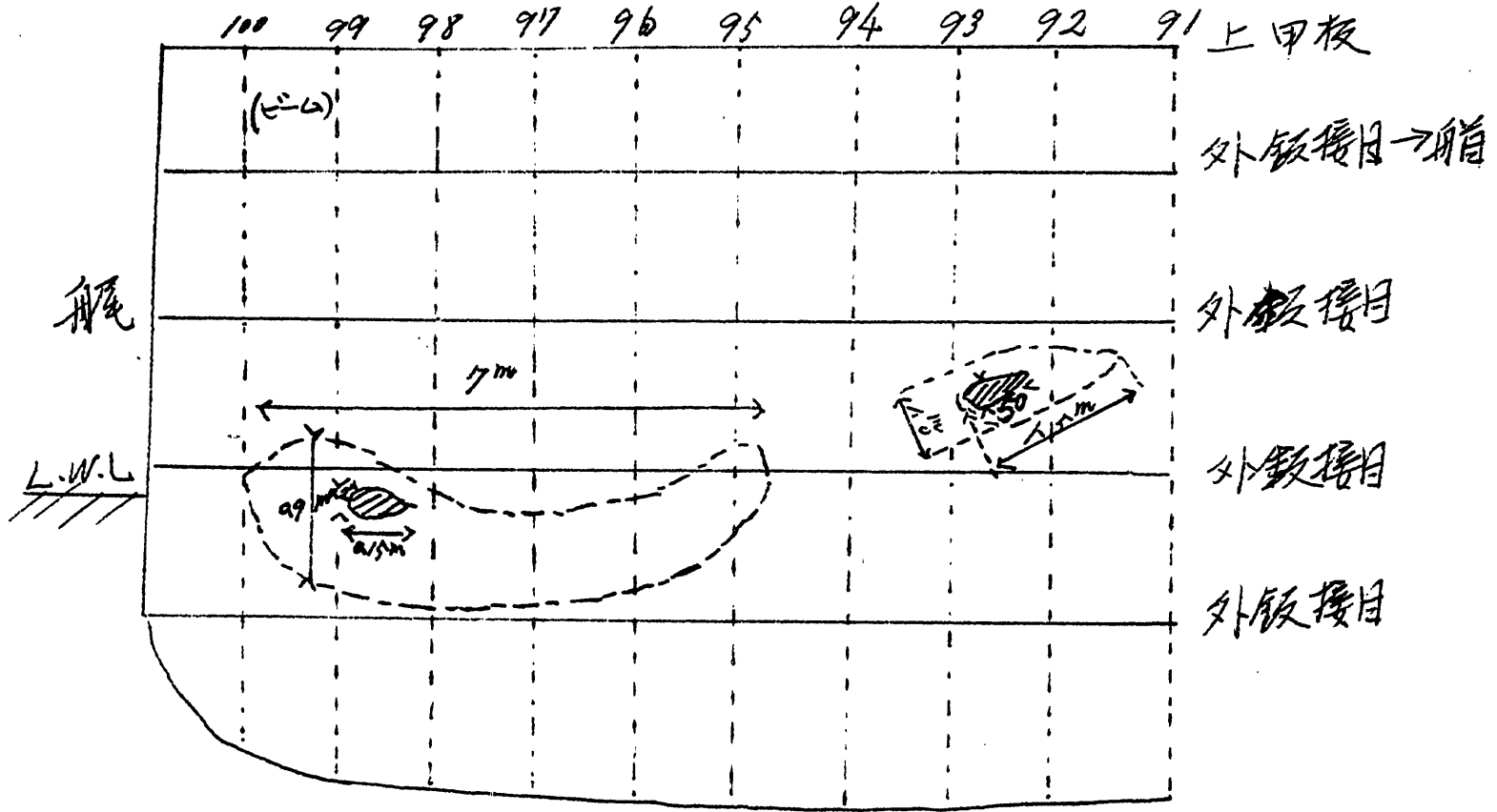
無シ

(終)

別図

# 軍艦長鯨觸衝損害箇所見取図

斜線部、破口長短線、凹部ヲ示ス



0509

海軍

軍艦長兼衝突艦未書

航海長 海軍大尉 佐々木 静吾

一 當道將校ノモノ二同

二 同 右

三 同 右

四 同 右

五 同 右

ハ午後八時二十分頃正確ナル時刻不明ナルモ衝突五分

前位ト記憶ス相手艦尤ニ面頭セルモノ如ク暫時

尤舷々燈ヲ認メシモ直々ニ原針路ニ復シタルモノ如ク

該紅灯ヲ見失フ

尔後衝突直前迄所要ノ海図箱ニ類ヲ入

才別相手艦ニ関シテ知ル所ナシ

海軍

六、當直將校ノモノニ同ニ

初メテ相手艦ヲ認メタル時ハ既ニ距離約五六十米ニ  
テ交角九十度乃至同航七十度附近ニテ艦長監督ノ  
モトニ行フ當直將校ノ避衝突手段ノ外操艦ノ處置  
ナキヲ信セリ

七、當直將校ノモノニ同ニ

八、同 右

九、同 右

十、同 右

終

大潜隊機密第八の號

十月十九日經由

海



昭和四年十月一日吳

第十八潜水隊司令

海軍大臣

伊號第五十四潜水艦觸衝事件報告

伊號第五十四潜水艦、第一潜水隊隊長第十八潜水隊ノ三番艦トシテ昭和四年九月二十九日午後三時ヨリ第一艦隊第一回應用教練ニ参加シ單獨行動中今八時三十分艦長鯨ト触衝艦首ニ別紙報告書ノ通損傷ヲ蒙ルニ至リ

(終)

潜水機密第

15號

12

昭和四年十月一日

伊號第五十四潜水艦長大和田昇

# 海軍大臣殿

伊號第五十四潜水艦触衝事件報告

一、衝突時刻 九月廿九日午後八時三十分

場所 潮岬燈台ノ一二度九涯

對手艦名 軍艦長鯨

同艦長名 海軍大佐和田壽三

二、衝突前後ニ於テ天候海上ノ模様等

(1) 風向 北東 風力 一九米秒

(2) 天候 曇 雲量 一。断續的降雨アリ 視界 6/10

(3) 海上ノ模様 荒 東南東ノ長涛アリ

海

軍

海軍

四 潮流ノ方向速力 東約一五節

三 發艦ノ發程地等

四 發程地 三河灣

四 目的地 和歌浦

四 原針路 二九。度

四 速力 強速力一四節

四 燈 汽 航海諸灯並速力灯ヲ莫出

四 船衝前後ノ狀況及施シタル處置

別紙第一

五 損傷ノ程度

艦首水線ニ別紙見取圖ノ如キ損傷ヲ生シタルモ其他

船体人員等ニ異狀ナク修理ノ爲入渠ヲ要セス

(船)

海軍

別紙第一

觸衝ノ状況及被シタル處置

伊號第五十四潜水艦ハ昭和四年九月二十九日午後三時〇分

第十八潜水隊ノ三番艦トシテ第一艦隊第一回應用教練

乙軍所定ノ既備ニ就キ爾後乙軍命令ニ從ヒ索敵觸

接襲數手ニ仕シ午後七時五分演習一時中止ノ信號ヲ接受

シ且翌翌朝午前二時ノ所定既備ニ就キ電命ニ接

シ午後七時二十分潮岬燈台ノ百四十度十八哩ヨリ針路

二九〇度速力十四節ニテ航海燈柱速力燈ヲ莫出シツツ

單獨航行セリ

八時十六分旗艦ヨリ正子目ノ岬ノ一八〇度七哩ニ集合

ノ電命アリ當時長鯨ハ本艦ノ左一三〇度約三〇〇米(

目測)(當時降雨ノ多測距儀使用不能)ニアリ右舷々燈



## 海軍

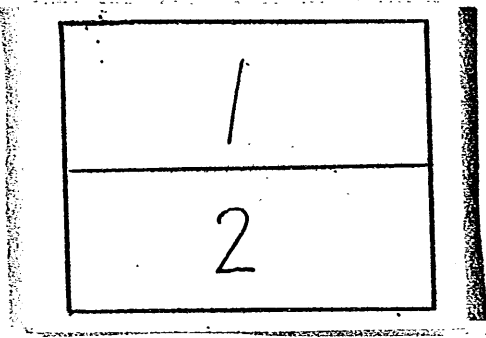

檣燈及速力燈（但シ左舷速力燈ハ認メ難シ）ヲ其シ略平  
 行針路ヲ採リ西航シツツアルヲ知リ爲念發光信號ヲ  
 以テ指示シ其長鯨タルヲ確メ之ニ續航ヤト決意シ當  
 直將枚ニ代リ小官自ラ艦ヲ操縦セリ當時本艦ノ右舷側  
 六左舷々燈ヲ莫出シツツ同航ノ軍艦駆逐艦潜水艦等  
 數隻アリ右回頭及轉ヲ不利トス又長鯨ノ方位真距離  
 離等ハ左回頭及航ニヨリ安全ニ其後戻ニ就キ得ルモノト判  
 断セシカハ一旦取航ヲ令シ約二十度回頭後若干變念ニ  
 取レ原針路ニ戻セシメ猶又長鯨ヲ注意セシニ速力燈  
 ハ強速ニシテ方位真距離相當大ニシテ安全ニ替リ得ルモノ  
 考ヘ八時二十分取航二十度ヲ令ス然ルニ約五十度回頭  
 後長鯨ノ爲艦ノ回頭意外ニ速ク長鯨ノ距離ハ豫想  
 以上ニ小トナリシニ尙付キ用ヒ茲行針路ニ戻ヤトシ其ヤ面

海軍

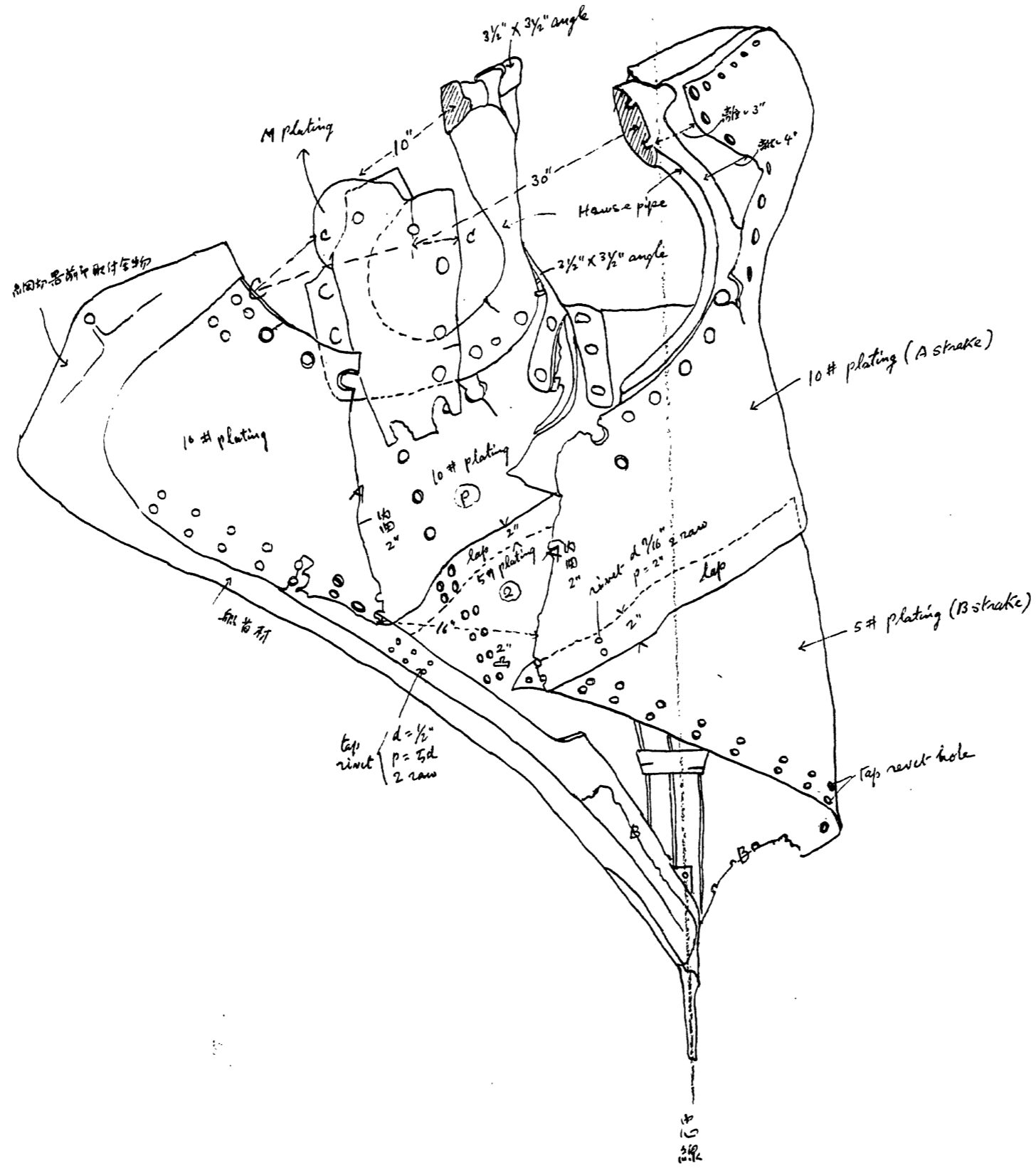
船一杯ヲ令シタル船取装置不具合ノ為操舵迅速ヲ  
 欠キ從テ左回頭ノ惰力猶止マズ針路交角過大トナリシヲ  
 以テ八時三十分機軸ヲ停止シ主機軸後進用意續テ後進原  
 速取舵ヲ令ス幸ニシテ機軸ノ操作ハ順當ニ行ハレ發動  
 又極メテ迅速ニシテ艦ノ前進惰力略止リタル頃ハ時三十五  
 分本艦々首ヲ以テ長鯨右舷右部ニ接触スルニ至レリ  
 衝突時彼我ノ對勢ハ針路交角約六十度ナリシ  
 又艦首方位等詳ナラス接触前後ニ於ケル航海諸灯  
 ノ莫滅等ニ關シテハ何等邊算ナシ

(終)

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>13 年 1 月 24 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 三 浦 悟</p> 	

正面図

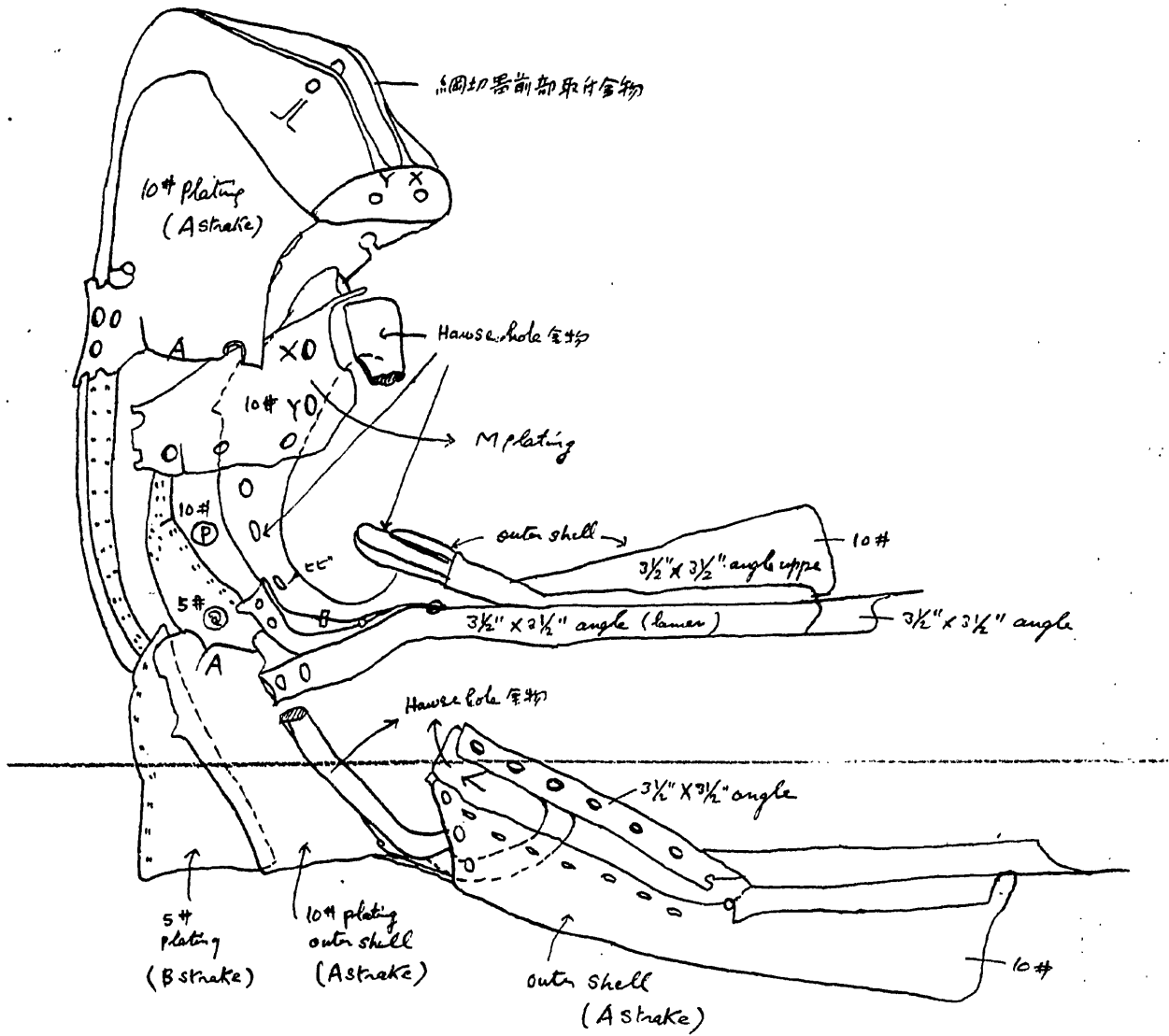


伊弉第五西潜水艦艦首損傷部見取圖

20 1/2"

0518

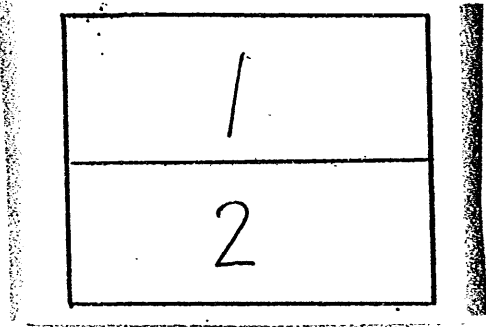

平面图



0519

0518

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>13 年 1 月 24 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 三浦 悟 </p>	

伊54潜水艦  
 損傷見取書

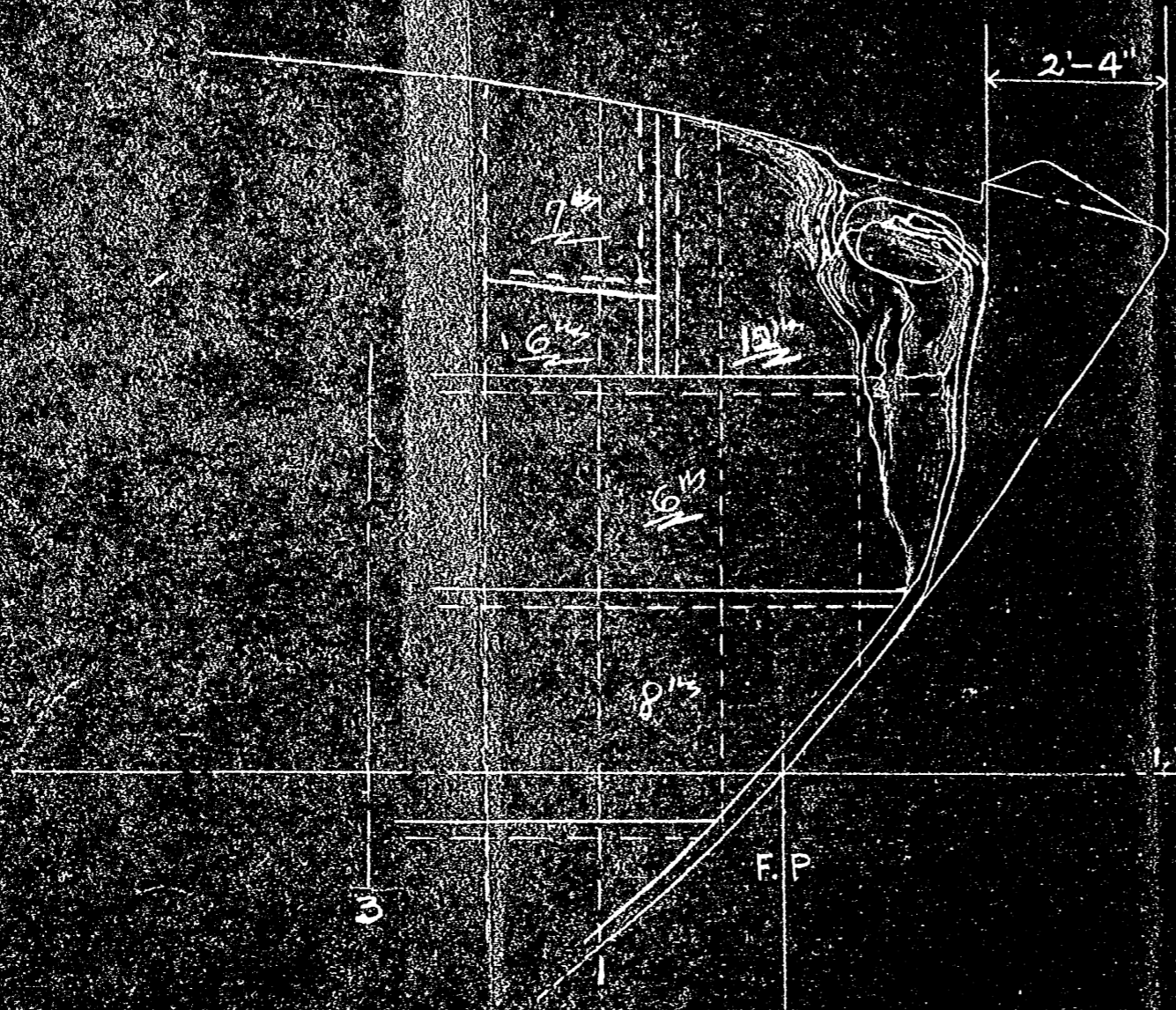
工事番號

尺度寸分の時工尺上

備考 赤着色部、損傷之部

本損傷船和四年九月二十九日午後八時至九時、潮岬南西  
 約五哩海面、軍艦長鯨上接觸之儀

側面



上部平面

艦

海軍工廠造船部	
部長	計画主任
製圖係	部員
製圖者	佐木 隆
製圖者	堀 4034
製圖者	4-10-1
製圖者	
製圖者	雑記 666

0520

